



神戸大学 PROMIS「記録のマテリアリズム」フォロー・アップ・トーク
太田光海

**「知と身体のコスモポリティクス
—北西アマゾン・シュアール族とワンピス族の
現代の暮らしから考える—」**

日時：2019年12月27日（金）19:00開始（18:30開場）
会場：パン屋アミーンズ・オーヴン
〒662-0035 西宮市若松町6-18 ヴィラドコアン 1階
<https://ameensoven.com/>
※参加費500円（ワンドリンク付き）
参加予約は以下まで↓
0798-70-8485 もしくは yumyum@ameensoven.com
定員20名に達し次第締め切らせていただきます

神戸大学 PROMIS「記録のマテリアリズム」フォロー・アップ・トーク
太田光海

**「知と身体のコスモポリティクス
—北西アマゾン・シュアール族とワンピス族の
現代の暮らしから考える—」**

Content

アマゾン熱帯雨林に暮らすシュアール族とワンピス族。13ヶ月に及ぶフィールドワークと映像制作を通して共に生き、彼らの「生活世界」を記録しようという試みを通じて見えてきた人間と環境との関係性の作り方について、作者／筆者の太田光海が語ります。

Presenter

発表者：太田光海

（マンチェスター大学社会人類学・映像メディア学科）

1989年東京都生まれ。人類学者、映像作家。マンチェスター大学社会人類学・映像メディア学科博士課程修了見込。神戸大学国際文化学部（現国際人間科学部）卒業後、パリ社会科学高等研究院（EHESS）で人類学修士課程修了。博士課程ではアマゾン熱帯雨林先住民の人々が訪ぐ自然環境との交感的関係性、そしてその現代における変容をテーマに映像人類学の見地から研究。2016年9月より、エクアドル、ペルーのアマゾン地域にて13ヶ月のフィールドワークを行う。2019年9月博士論文及び映像作品『Kanarta』を提出、同年12月口頭試問終了。



Photo by Tatsuki Shirai

ディスカッサント：阪本佳郎（東京外国語大学大学院総合国際学研究院博士課程）

主催 PROMIS 神戸大学国際文化学研究推進センター研究プロジェクト
「記録のマテリアリズム」（代表・小笠原博毅）